

令和6年度大学・高専機能強化支援事業
(支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)
事業概要

令和6年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	金沢星稜大学		設置区分	私立
学校種	大学		都道府県	石川
大学全体の総収容定員	2,632 名	※令和5年5月1日時点		
学部学科 組織構成	経済学部（経済学科、経営学科） 人間科学部（スポーツ学科、こども学科） 人文学部（国際文化学科）			
事業計画名	地域の創造的復興を支える文理融合型人材育成を目的とした金沢星稜大学総合科学部の設立			

2. 事業概要

地域に立脚する大学として開学以来60年近い歴史を有する経済学部の社会科学系領域での実績と、2000年代以降に設置した人間科学部と人文学部での人文学系領域での活動を基盤に、DXおよびGX技術に対する十分な理解と活用能力を兼ね備え、社会・産業・商業・歴史・文化・環境に対する総合的・横断的な理解を背景として、創造的復興も含めて地域の持続的な成長と発展を可能とする文理融合型の地域DX・GX人材育成を主眼に置いた総合科学部の開設を検討する。 総合科学教育の実現においては、数理とリベラルアーツを統合した教育をデジタル技術とデザイン思考で推進していく「星稜STEAM-D(Seiryō Transformative Education for Arts & Math by DX/Design)構想」による全学的な文理融合型教育体制を基盤とし、総合教育を支える運営基盤自体も、「入学」「教育」「研究」「評価」などの大学を取り巻く課題に対して一体的に対応可能な組織体制として整備する。
--

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和10年度
認可申請・届出の別	認可申請
改組内容	学部の新設
設置等組織名	総合科学部 総合科学科
設置等組織の学位分野	社会学・社会福祉学関係 工学関係 農学関係 理学関係 - -
当該学部等の所在地	石川県金沢市
入学定員	新設予定
収容定員	新設予定
入学定員の増加数	75 名
他学部等の入学定員の減少数	150 名

事業計画名 地域の創造的復興を支える文理融合型人材育成を目的とした金沢星稜大学総合科学部の設立					
基本情報					
改組予定年度	令和10年度	設置等組織名	金沢星稜大学 総合科学部 総合科学科	入学定員増数(合計数)	75
所在地	石川県金沢市	改組内容	学部の新設	入学定員減数(合計数)	150

<社会や地域のニーズ・課題>

- ・北陸地方をはじめとした地域の人口減少や少子高齢化、産業空洞化、インフラ老朽化などの課題は深刻なものとなっていき、都市圏への人口流出をさらに加速させていくと考えられる。
- ・「令和6年能登半島地震」という具体的な課題を受け、**地域に根差した創造的復興を長期にわたって実現していく地域人材**の育成が重要となっていく。

<設置学部等の概要・コンセプト・特徴など>

- ・北陸地域に立脚する大学として経済学部、人間科学部、人文学部の三学部構成で積み重ねてきた活動を基盤に、**DXやGXの最新技術を充分に活用できる文理融合型地域人材**を育成する。
- ・工学系、理学系、農学系と社会学系を横断する複合領域型の「総合科学部総合科学科」を、令和10年度に開設する。
- ・**地域の社会・産業・商業・歴史・文化・環境を尊重し理解した上で、DXやGXの最新技術の積極的な社会実装**を前提とした地域の創造的復興を実現していくための教育を行う。

<教育内容・育成する人材像>

- ・「デジタル田園都市のためのランドスケープデザイン」、「生命環境保全のためのグリーンインフラ」、「持続可能な地域交通システム」、等の**工学的な解決策**を、地域の創造的復興と持続的な成長のために、**真に地域に根差したものとして実現**できる人材を育成する。
- ・いわゆるSTEAM教育の意図を基盤としながら、「**Transformative Education**」として、時代に応じて柔軟に変容し進化し続ける全学的な教育体制及びインフラを、「**STEAM-D**」構想として、**デジタル技術とデザイン思考に基づいて構築**していく。
- ・デザイン思考の趣旨は「**考案する**」、「**設計する**」、「**意図する**」、「**計画する**」であり、それらの能力を発揮して、地域の一員として地域に根差した創造的復興に取り組む**学生を育成**する。

<連携を通じた教育体制の整備>

- ・地域の産官学連携を前提としたPBL科目の設置、実務者教員配置を推進する
- ・地域の大学間連携プラットフォームでの科目提供、協同開講などの連携体制を推進する
- ・海外協定校とも、オンライン上での共同学習、科目連携を推進する

<多様な入学者の確保>

- ・総合型選抜方式の充実化で、入学者の様々な意欲に応える
- ・中学、高校と連携した教育プログラム、模擬授業等を推進し、地域課題を解決するための総合科学に興味・関心・意欲のある層を拡げていく

